

☆ マンションの環境性能を星の数でチェック！

最近、マンションの折り込み広告や広告雑誌で、右のようなマークを見かけたことはありませんか？

これはマンションの建築物としての環境配慮の取組の評価を表し、星が多いほど評価が高いことを表しています。

平成18年10月1日から始まった川崎市建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)の届出を行ったマンション(主に床面積の合計が2,000㎡以上のもの)の広告に表示されています。

★ レーダーチャートの6つの評価項目：
CASBEE川崎による評価に基づき得られる各評価項目別の得点(5点満点)で表示します。

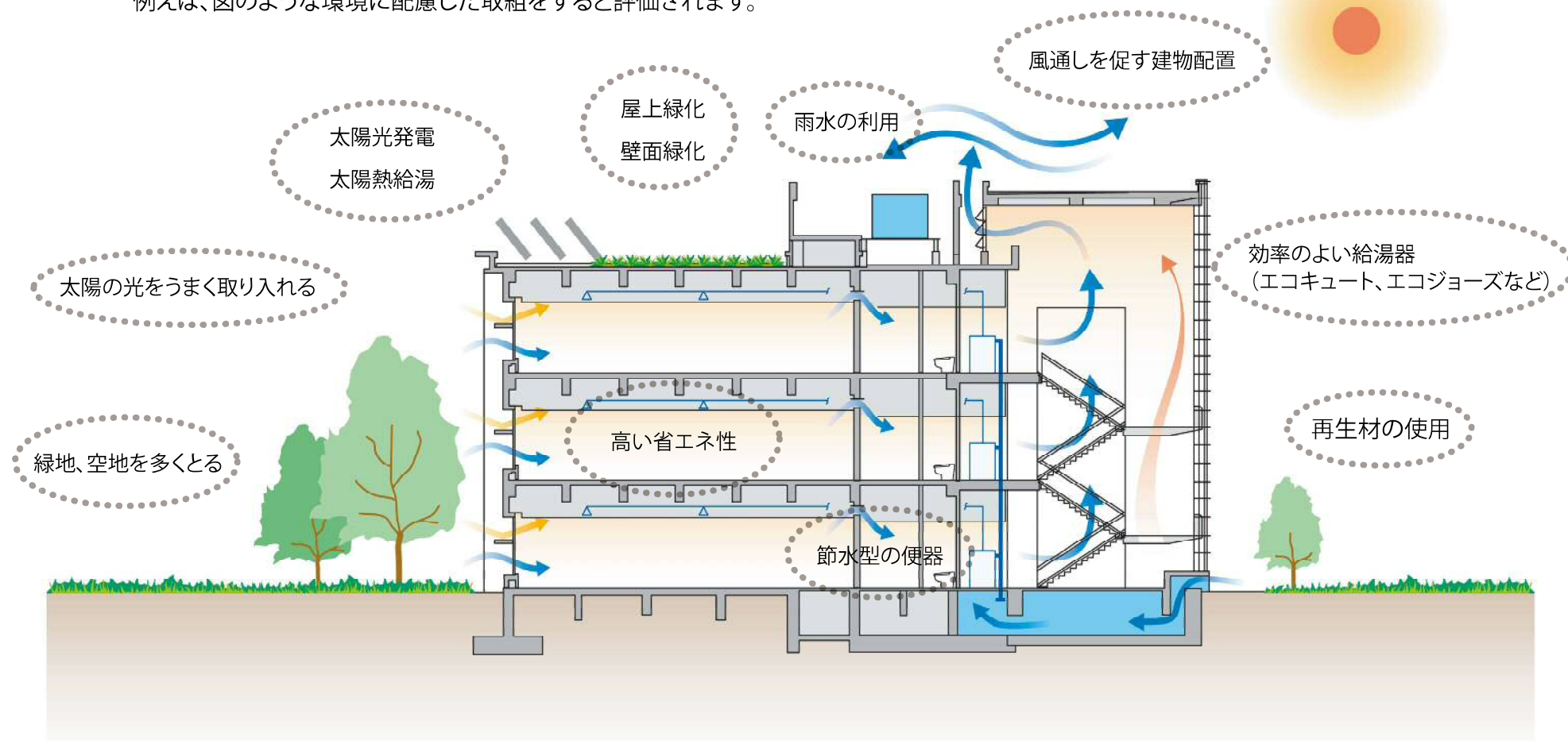
★ 星印(★)の数による総合評価：
S(★★★★★)、A(★★★★)、B+(★★★)、B-(★★)、C(★)の5段階で表示します。



☆ CASBEE川崎評価のポイント

CASBEE川崎には、建築物環境性能を総合的に評価するため、多数の環境配慮項目があります。

例えば、図のような環境に配慮した取組をすると評価されます。

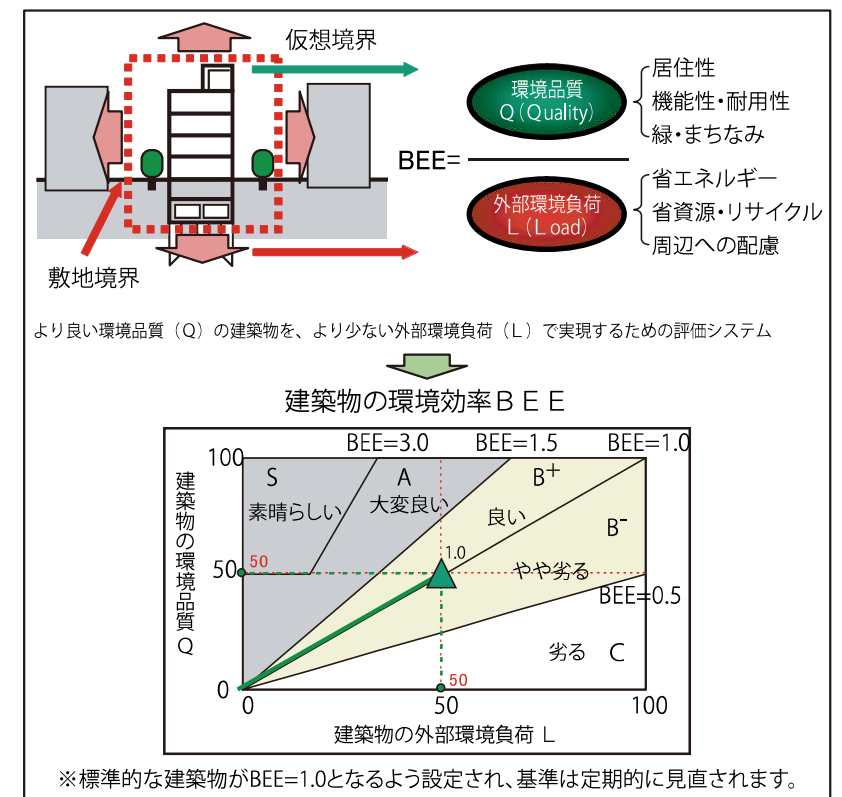


※分譲共同住宅環境性能表示は川崎市が認証を与えるものではなく、建築主の自主的な環境配慮への取組結果を表示するものです。

☆ CASBEE川崎とは？

CASBEEとはComprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency の略で“キャスビー”と読みます。

日本語にすると、建築環境総合性能評価システムで、建築物の環境性能(居住性、機能性・耐用性、緑・まちなみ)や、外部に与える環境負荷(省エネルギー、省資源・リサイクル、周辺への配慮)に関する取組を点数化して集計し、総合的に評価するシステムです。



評価結果は、高いほうからS(★★★★★)、A(★★★★)、B+(★★★)、B-(★★)、C(★)の5段階で表されます。

CASBEEは、平成15年に国土交通省、学識経験者など産官学の共同により開発されました。CASBEEを基本として、川崎市の地域特性や関連する諸制度における取組をふまえて一部編集し直したシステムが「CASBEE川崎」です。

☆ 川崎市建築物環境配慮制度

建築物は、設計から廃棄に至るまで、そのライフサイクルを通してエネルギーの消費、廃棄物の発生等、環境に大きな影響を与えています。建築物は一度建設されると長期にわたり使用され、とりわけ、供用時におけるエネルギー消費量の削減は地球温暖化防止対策の大きな課題となっており、新築や増改築の機会をとらえて省エネルギー等の建築物の環境性能を高めることが重要となっています。

川崎市における建築物環境配慮制度は、CASBEE川崎を評価ツールとして建築主に建築物の省エネルギー、省資源・リサイクル、周辺環境への配慮や緑化対策など、総合的な環境配慮の取組を促すとともに、環境配慮の取組内容の提出を求め、その概要を公表する制度であり、環境に配慮した建築物の普及を図ることをねらいとしています。